

阪高環状線 長期通行止め

20日朝まで、リニューアル工事

大阪市中心部の阪神高速道路環状線の一部で10日、通行止めが始まった。20日

阪神高速の工事による
通行止め区間



環状線南行き梅田の入り口から夕陽丘出口で20日午前6時まで



リニューアル工事のため通行止めが始まった阪神高速道路環状線。10日午前10時15分、大阪市

午前6時まで続く。同社は周辺道路などで激しい渋滞が予想されるとして車の利用を控えるよう呼び掛ける。迂回路を案内している。

通行止め区間は環状線南行きの梅田の入り口から夕陽丘の出口までの間。また10日から27日午前6時まで守口線の南森町と扇町付近も工事のため通行できなくなる。両線を含めた通行止め区間は計約8キロ。

迂回路となる近畿自動車道では平日午後5時台に東大阪ジャンクションから八尾方面へ18・6キロの渋滞が予想されている。

環状線は1日に約25万台が利用。使用開始から50年以上が経過し、道路の床面などの損傷が進んでいた。来年度に北行きの工事を予定している。

十一月十日火曜日 神戸新聞夕刊分

関西の歴史を動かし 発展させて。この地域を支えてきて50年あまり。その長もさることながら、今なお大きく揺るがぬ安定感。次の50年、100年のために十二分のメンテナンスをしてもらいたいものです。

そして誇り。日本の先人の技術行を。